

高性能・低コスト実現

汎用エンジン用触媒の開発

排ガス規制の強化と相まって各メーカーが頭を悩ましていた触媒。この目を集めているのがファインステールエンジン触媒について、エンジン



エンジン専用設計の同社触媒・マフラー

採用されるなど、マフラーと一体化した提案が行える唯一の企業として豊富な実績を誇っている。1990年3月の設立以来、最先端の新材料と新工法を駆使した新技術と独自発想で、新たなモノづくりを行っている同社。農業機械では刈払機用ドライブシャフトや同ギヤケースをはじめ、各種エンジンピン、ヘッド、自動車部品ではバルブマチック機構コントロ

ールシャフト、シフトレバー、フィルター、ブラケットなど、全て素材から見直し、独自工法による低コスト化を実現。小回りが見直しが効くことから、困った時のファインステール頼み」と、絶大な信頼を得ている。

ファインステール

北米や欧州の排ガス規制に対応しているメタルハニカム触媒「Mシリーズ」も多く採用されている製品の面立に立って、臨機応変に対応。自動車などに使われる三元触媒は、メーカーの標準仕様の中から「ファインステール」を選択するが、同社は、現行の排ガス値や窒素酸化物(Nox)、ハイドロカーボン(H)81。

マフラーの開発も得意にしていて、

▽住所 神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-4 電話